

Ⅶ 放 射 能

1. 概 況

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所の事故を受け、市内における空間放射線量率測定を開始しました。ここでは主に放射性セシウムを検査対象とし、市内15地点を定点として定期的に測定を行ってきました。平成27年度末に行った測定では、全ての地点で年間値に換算すると1ミリシーベルトを下回る値となり、ほぼ全ての地点で測定値が減少傾向または低い値で安定し、原発事故前の数値に戻っていることが確認されたため、平成27年度をもちまして定期的な測定は、終了といたしました。

また、私有地での空間放射線量率測定の要望が多いことから、私有地については市民自ら測定することとし、平成24年2月から簡易放射線量率測定器の貸し出しを開始しました。取り扱いが容易で、放射線量の値がすぐに確認出来ることから、貸出開始当初は85%を超える稼働率でしたが、年々貸出件数は減少し、平成30年度は1件でした。

さらに、平成25年1月から自家消費農産物等を対象に、食品放射性物質濃度検査を行っていましたが、検査件数が平成26年度は1件、平成27年度は0件だったため、検査件数や検査機器の校正費用を考慮して平成27年度をもちまして終了といたしました。

図Ⅶ-1 定点のうち6地点の空間放射線量率測定結果推移

